

年間授業計画

足立東 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民科 科目 政治・経済

教科：公民科

科 目： 政治・經濟

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：石黒・小日向・北浦

使用教科書：（『最新政治・経済』実教出版）

教科 公民科 の目標：

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【学びに向かう力、人間性等】

の理解を促す
平和と繁栄

科目 政治・經濟

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【第1部 現代日本の政治・経済】 ○第1編 現代日本の政治 ・政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・現代日本の政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ○第2編 現代日本の経済 ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。	・民主政治と法 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度 ・日本国憲法の成立，基本原理 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権・参政権・請求権 ・平和主義と自衛隊，日米安保体制 ・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治と選挙 ・世論と政治参加 ・経済活動の意義，変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・金融の役割，日本銀行の役割 ・財政の役割，日本財政の課題 ・日本経済の成長と課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割と課題	【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	○	○	○	26
	2 学期	【第2部 現代の国際政治・国際経済】 ○第1編 現代の国際政治 ・国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・現代の国際政治に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ○第2編 現代の国際経済 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・現代の国際経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・こんにちの国際政治 ・人種民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・日本の外交と国際社会での役割 ・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・新興国の台頭 ・経済のグローバル化とICTでかわる世界経済 ・発展途上国の課題と展望 ・地球環境問題，資源エネルギー問題 ・経済協力と日本の役割	【知識・技能】 ・国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	○	○	○
3 学期	【第1部 現代日本の政治・経済】 ○第3編 現代日本における諸課題の探究 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述させる。 【第2部 現代の国際政治・国際経済】 ○第3編 国際社会における諸課題の探究 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際経済格差の是正と国際協力，イノベーションと成長市場，人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組，持続可能な国際社会づくりなどについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述させる。	・現代日本における諸課題の探究 ・国際社会における諸課題の探究	【知識・技能】 ・各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，政治および経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。 ・各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために，現代日本，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	16
							合計
							70